

# 検定チェックシート 2016

公益社団法人日本山岳ガイド協会 試験・研修委員会

検定資格：

**自然ガイド・ステージⅡ**

検定科目：

**積雪期自然観察路ルートガイディング  
自然観察指導技術、安全管理技術**

日 程：平成 年 月 日～ 日

検定員氏名： \_\_\_\_\_

検 定 地： \_\_\_\_\_

## 【検定方法】

- ・受験者一人当たり 2～3 時間程度、検定員が適切なコースを指定して検定する。
- ・規定の項目に従って、場所の設定、検定内容、方法等を説明する。
- ・天候、場所受験者人数等状況に応じて検定員の判断で検定順などは適時変更して実施。
- ・検定内容によっては、他の受験者または検定員等をクライアント役に決める。必要に応じてクライアント役の条件を設定（男、女、年齢、体力、経験等）する。
- ・検定に当たり明らかに間違った方法、能力不足で危険な場合は検定を中止させる。検定後に、間違い、知らない技術について講習、研修させても良い。

## 【検定チェックシート記入目安】

優秀	5 点	〔非常に良い、質的にも量的にも〕
良い	4 点	〔良い、要求に適切に対処できる〕
やや良い	3 点	〔最小限の要求に対処できる〕
やや出来ない	2 点	〔不完全、足りない〕
ほとんど出来ない	1 点	〔非常に足りない〕
まったく出来ない	0 点	〔仕事として使えない、仕事をしなかった〕

## 【合格基準および検定項目の採点方法】

- ・各項目は 5 点満点評価を行う。
- ・合格基準は満点に対して 70%以上でなければならない。また 2 点以下があってはならない。

項目 ( ) 内は配点	受験者氏名					
<b>自然解説技術</b>						
<b>1.自然についての知識</b>	小合計→					
1 試験会場の冬季の植物や植生について十分な知識	(5)					
2 試験会場の冬季の動物、鳥類、昆虫類などについて十分な知識	(5)					
3 試験会場の歴史、文化、地誌、気候の特徴などについて十分な知識	(5)					
4 地形図を使って山座同定し解説できるか	(5)					
<b>2.解説技術</b>	小合計→					
1 楽しめる、興味を持てる解説をしているか	(5)					
2 自然観察に必要な用具の所持(双眼鏡、ルーペ、図鑑等)と、活用	(5)					
3 解説資料の作成、配布、活用は適切か	(5)					
<b>3. 環境に対する配慮</b>	小合計→					
1 環境に配慮が感じられるか(ゴミの処理、トイレ他)	(5)					
<b>ガイドング技術</b>						
<b>4. ガイドングに適切な装備について</b>	小合計→					
1 ガイドらしい服装と装備か	(5)					
2 顧客用の予備(サングラス、手袋など)を用意しているか	(5)					
<b>5. ガイドングについて</b>	小合計→					
1 積雪地での休憩地の選択と取り方は適切か	(5)					
2 雪上での用具を使用した適切な歩行ができるか (軽アイゼン、スノーシュー、ストック)	(5)					
3 ルート設定は適切か	(5)					
<b>6. 安全管理・危急時対応</b>	小合計→					
1 雪上歩行時の安全配慮(歩き方・踏み抜き等)に関する指導は充分か (5)						
2 不安定な足場や危険箇所についての注意配慮は十分か	(5)					
3 雪崩についての初歩的知識があるか	(5)					
4 常に気温や降雪などに応じた行動を心掛けているか	(5)					
5 凍傷、低体温症などへの対応は十分か	(5)					
6 ツェルトを適切に設営できるか	(5)					
<b>7. ホスピタリティー</b>	小合計→					
1 全体を通じてホスピタリティーを感じるか(細やかな心遣い)	(5)					

【判定】

合計点 (70点以上が必須、2点以下がないか)						
総合評価(検定員による判定)	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No

講習項目 ※時間があれば、検定員が必要と思われる、下記の講習を行う

道具の基礎的な知識、及び管理方法						
低温対策、ツェルトの様々な利用法、スノーシューの管理など						

実技検定試験の装備について

●自然ガイド積雪期実技検定基本装備

☆印は工夫の範囲で、必需品ではありません。

品名	備考	品名	備考
リュックサック (40%以上)	1(背負搬送の荷重に耐えられる強度のもの)	水筒(真水を含めること)	1
防水スタッフバック	適量(ザック内の全装備を入れられる容量のもの)	サーモス(保温ポット)	1
ツールナイフ	1	行動用食糧	適量
サングラス・ゴーグル	顧客用予備も含めて複数	ビニール袋	適量(ごみ処理用等)
ヘッドランプ	顧客用予備も含めて複数	食器,箸,スプーン,フォーク等☆	1セット
ツェルト	1 (床 130×210cm 程度)	タオル	適量
地図およびルート図	地図は 1/25000 のこと	トイレトペーパー	適量
時計	1	筆記用具	1
プレートコンパス	1	日焼け止め等	1
高度計	1(腕時計タイプで可)	洗面用具☆	1
ファーストエイドキット	1(防寒対策も忘れず)	健康保険証	1(コピー可)
テーピングテープ	1(38mm幅)	顧客用予備手袋	適量
バーナー&燃料+クッカー	1 ※注1	顧客用予備防寒着	適量
ライター	1	宿泊施設での着替え☆	適量
検定地域のガイド用資料	適量(図鑑・観察用具等)	その他ガイドとして必要なもの	適量(修理用具など)
顧客配布用ガイド資料	7部以上		

○持参する装備は容量重量共に工夫し必要なものはすべて忘れないこと。

(装備の不備があった場合、検定評価対象以外のものであっても、減点の対象になることがある。)

○ガイドに相応しい服装とは、検定エリアの気候・地理に合うもので、プロとして清潔感があること

○検定日の昼食は行動食として各自で工夫すること。

※注1 航空機を利用して受験される方は燃料の持参が無くて可。

●積雪期実技検定試験に伴う専門装備

品名	備考	品名	備考
クライミングロープ(8mm×20m以上)	1	スノースコップ	1
安全環付カラビナ(1枚は、HMS)	3	ストック(雪用リング着用のこと)	1セット
カラビナ	2	冬季ガイドに相応しい服装	一式
ソウンスリング150cm以上	1	冬季用登山靴	1
ソウンスリング120cm	2	ピッケル(縦走用)	持っている人
ソウンスリング60cm	2	アイゼン(6本爪以上またはチェーン式)	1
		スノーシュー(輪かんじき良い)	1

検定概要 (コース・内容)】

【受講者への講評】

